



知られざる、北欧美術の世界へ――

THE MAGIC NORTH

北欧の神秘

ノルウェー・スウェーデン・フィンランドの絵画

ART FROM NORWAY, SWEDEN AND FINLAND

2024. 7.13 SAT , 9.23 MON

9:00-17:00 (入場は16:30まで)
月曜休館(ただし、祝日の場合は翌平日)※8月は無休

主催：松本市美術館、NHK長野放送局、NHKプロモーション 共催：信濃毎日新聞社、市民タイムス、MGプレス
協賛：DNP大日本印刷 特別協力：スウェーデン国立美術館、フィンランド国立アテネウム美術館、ノルウェー国立美術館
協力：フィンエアー、フィンエアーカーゴ 後援：スウェーデン大使館、フィンランド大使館、ノルウェー大使館 企画協力：S2

national museum

ATENEUM

N

テオドール・キッテルセン《ロルのシラミ取りをする姫》(部分) 1900年 Photo: Nasjonalmuseet/Borre Hostland ガーラル・ムンテ《山の門の前に立つオースムン》(部分) 1902-1904年 ガーラル・ムンテ《一の間》(部分) 1902-1904年 ガーラル・ムンテ《五の間》(部分) 1902-1904年 ガーラル・ムンテ《帰還するオースムンと姫》(部分) 1902-1904年 ガーラル・ムンテ《山の中の神隠し》(部分) 1928年 Photo: Nasjonalmuseet/Jacques Lathion いずれもノルウェー国立美術館



松本市美術館
MATSUMOTO CITY MUSEUM OF ART



〒390-0811 長野県松本市中央4-2-22

TEL.0263-39-7400 <https://matsumoto-artmuse.jp>

本展は、北欧の自然や神話に見られる神秘的な側面に着目し、ノルウェー、スウェーデン、フィンランドの国立美術館が所蔵するコレクションの中から、19世紀から20世紀初頭の北欧絵画を日本でまとめて展示するはじめての展覧会です。

19世紀、それまでフランスやドイツといった大陸諸国の美術に範をとっていた北欧の画家たちは、ナショナリズムの高まりを背景に、次第に母国の自然や歴史、文化に高い関心を寄せるようになりました。厳しい気候風土が生み出した自然の風景、古くから伝わる神話や民間伝承の物語、さらには近代化に伴い発展する都市景観が画家たちの手によって幻想的に表現され、北欧独自の絵画世界が開かれます。特に1900年前後は北欧美術の黄金期と呼ばれ、ノルウェーの画家エドヴァルド・ムンクをはじめとする画家たちが活躍しました。

選り抜かれた貴重な作品約70点を通して、北欧美術の知られざる魅力をお楽しみください。



1.カール・ステファン・ベンネット《ストックホルム宮殿の眺め、冬》制作年不詳 スウェーデン国立美術館 Photo: Nationalmuseum 2.マルクス・ラーション《滝のある岩場の景観》1859年 スウェーデン国立美術館 Photo: Nationalmuseum 3.ニコライ・アストルプ《ユルステルの春の夜》1926年 ノルウェー国立美術館 Photo: Nasjonalmuseet/Frode Larsen 4.エウシェン王子《初冬の朝》1906あるいは1907年 スウェーデン国立美術館 Photo: Hans Thorwid/Nationalmuseum 5.ロベルト・ヴィルヘルム・エークマン《イルマタール》1860年 フィンランド国立アテネウム美術館 Photo: Finlands Nationalgalleri/Hannu Aaltonen 6.エドヴァルド・ムンク《フィヨルドの冬》1915年 ノルウェー国立美術館 Photo: Nasjonalmuseet/Børre Hostland 7.ガーラル・ムンテ《帰還するオースムンと姫》1902-1904年 ノルウェー国立美術館 Photo: Nasjonalmuseet/Jacques Lathion トラシ上部、ガーラル・ムンテ《一の間》(部分)1902-1904年 ガーラル・ムンテ《山の中の神隠し》(部分)1928年 いずれもノルウェー国立美術館 Photo: Nasjonalmuseet/Jacques Lathion

関連プログラム

講演会「北欧のこと、暮らしのこと」

松本市在住の菜原さんに、ノルウェー移住時の体験や家族との日々の暮らしなど、北欧にまつわるお話をお聞きします。

講師 菜原さやか氏(ライター)

日時 7月15日(月・祝)10:00~11:30
(開場は開演の30分前)

会場 松本市美術館 多目的ホール

料金 無料

定員 先着70名

申込 6月12日(水)から美術館HPで受付

ワークショップ「フィンランドのヒンメリづくり」

講師 上原かなえ氏(クラフト作家) 初級・中級の2講座

日時 7月31日(水)

[初級]10:30~12:00 [中級]14:00~16:00

会場 松本市美術館 講座室・市民アトリエ

料金 [初級]1,400円 [中級]1,700円

対象 [初級]小学生以上(小学3年生までは保護者同伴)

[中級]中学生以上

定員 各回先着10名

申込 6月14日(金)から美術館HPで受付

当館学芸員によるギャラリートーク

日時 8月6日(火)、27日(火)

各日14:00~

料金 無料

(当日有効の本展観覧券が必要)

定員 先着15名程度

申込 不要。企画展示室前に集合

※手話通訳付きのギャラリートークを9月4日(水)に開催予定です(要事前予約制)。詳細は美術館公式HPをご確認ください。

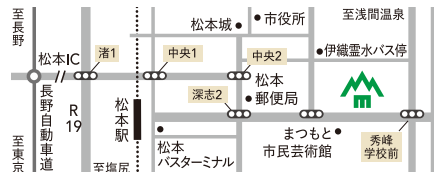
観覧料	大人※		大学高校生		
	窓口	オンライン	窓口	オンライン	
北欧の神秘展	当日券	1,500円	1,400円	1,000円	900円
	前売券	1,300円		800円	
コレクション展示 共通券	当日券	1,800円	1,700円	1,200円	1,100円
	前売券	1,600円		1,000円	

※70歳以上の松本市民は当日券1,000円(前売券800円)、コレクション展示無料。オンラインチケットの取扱いはありません

●前売券の取扱いは7月12日(金)まで ●中学生以下無料、障がい者手帳携帯者とその介助者1名無料 ●20名以上の団体は各200円引き(共通券との併用不可。当日窓口販売のみ)

●大学高校生と70歳以上の松本市民は、観覧当日、証明書(学生証、免許証等)の提示が必要

窓口販売:松本市美術館/オンラインチケット:美術館公式HPから



駐車場には限りがございますので、自家用車以外でのご来館にご協力をお願いします

- JR松本駅からアルビコ交通バス・横田信大循環線5分[松本市美術館]下車。またはタウンズニーカー(市内周遊バス)東コース7分[伊織霊水(美術館北)]下車。徒歩5分
- JR松本駅、松本バスターミナルから徒歩約12分
- 長野自動車道松本ICから車で約15分



展覧会の最新情報や
オンラインチケットの
ご購入はこちらから▶

